

# 学力向上グランドデザイン(令和6年度)

桑折町立醸芳小学校

## 〈児童の実態〉

- 学習態度や学び方が定着しつつある。
- 自分の思いや考えを伝えることが苦手な児童が多いので、発信する力を付けたい。

【NRT より】※R5年度2月実施

- 国語科では、低学年はすべての領域で高い。高学年はほぼすべての領域でやや低い。
- 算数科では低学年はすべての領域で高い。高学年はすべての領域で低い。
- アンダーアチーバーは18%である。

【偏差値平均】

- 学力 国語科(50.8)算数科(50.5)
- ・ ※知能(51.9)

## 〈教育目標〉

よく考えて学ぶ子ども  
親切で思いやりのある子ども  
健康で明るい子ども

## 〈保護者・地域の願い〉

- 学習習慣と確かな学力を身に付けた子ども
- 困難なことや苦手なことにも、最後まであきらめずやり抜く子ども

## 〈基本方針〉

- 授業の質的改善を図り、すべての子どもに「わかる、できる授業」を実践し、確かな学力を育成する。[探究型学習]
- 具体的な数値目標を設定する。(NRTで、偏差値55、アンダーアチーバー0を目指す)
- より具体的な取り組みについて学級ごとに計画を立てる。

## 〈醸芳小学校の合言葉〉

こつこつ とことん あきらめない  
(継続、徹底、根気)

- 基礎・基本の定着と確かな学力の育成
- 「主体的・対話的で深い学び」の授業づくり
- 読書活動の推進

### 国語科

#### 【PLAN】

- ① NRTに基づく「学力向上の課題と方策」策定
- ② ワークテストの達成率85%以上

#### 【DO】

- ① 課題把握と確実な見通しのための導入の工夫
- ② 主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善
  - 「言葉による見方・考え方」を働かせる授業の展開
    - ・ 育むべき資質・能力の明確化
    - ・ 「言葉にこだわる」「言葉を吟味する」授業
  - 「考えの形成」の練り上げ
    - ・ 児童が理解した言葉を問い直し、思いや考えを深める授業
  - 「共有」できる場面の設定
    - ・ 他者の考えをしっかりと捉え、思考を深めたり活性化させたりする「共有」の場の設定

#### 【CHECK】

- ① 子ども一人一人に対する教師の見取り
- ② 授業研究をもとにした検証(現職教育)
- ③ 各種テストの結果によるつまずきの把握、分析(単元テスト、活用力育成シート、家庭学習など)

#### 【ACTION】

- ① 見取ったつまずきに対する支援の検討(補充的指導、発展的指導)
- ② 教師一人一人の授業検証に基づく授業改善

### 算数科

#### 【PLAN】

- ① NRTに基づく「学力向上の課題と方策」策定
- ② ワークテストの達成率85%以上

#### 【DO】

- ① 課題把握と確実な見通しのための導入の工夫
- ② 主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善
  - 学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりして自身の学びや変容を自覚できる場面の設定
  - 対話によって自分の考えなどを広げたり深めたりする場面の設定
  - 学びの深まりをつくりだすための児童が考える場面と教師が教える場面の組み立て

#### 【CHECK】

- ① 子ども一人一人に対する教師の見取り
- ② 各種テストの結果によるつまずきの把握、分析(単元テスト、活用力育成シート、家庭学習など)

#### 【ACTION】

- ① 見取ったつまずきに対する支援の検討(補充的指導、発展的指導)
- ② 教師自身の指導の振り返りに基づく授業改善

## 桑折町学力向上推進事業との関連を図った取組

- 「授業の約束」の指導の徹底(醸芳スタンダードの確立)
- 「徹底反復練習」の充実
  - ・ 読み・書き・計算の徹底反復による言語や数量スキルの向上
- 家庭学習における基礎・基本の定着
  - ・ 家庭学習の手引きの見直しと習慣化
  - ・ 家庭学習の手引きによる指導(学年×10+10分)
- 自主学習の質・量を高める指導
  - ・ 自主学習ノート展の実施と評価の工夫
- 家読運動による読書習慣づくり
  - ・ 継続した取組による基本的な生活習慣の確立

## 「ふくしまの『家庭学習スタンダード』による取組

『ふくしまの「授業スタンダード」』の自校化による授業改善